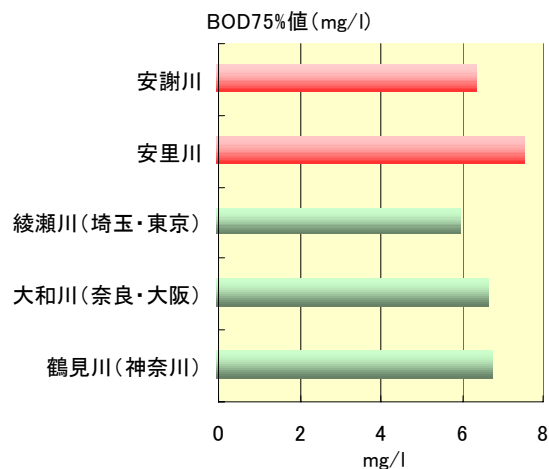


- 沖縄では、都市化による人口の集中や産業の発展などに伴い、生活排水や事業排水が増加し、河川・海域などの公共用水域の水質悪化が懸念されている。特に下水道など污水处理施設の整備は都市部と地方部において大きな格差が生じていることから、整備率が低い本島北部や離島などにおける整備を促進する必要がある。

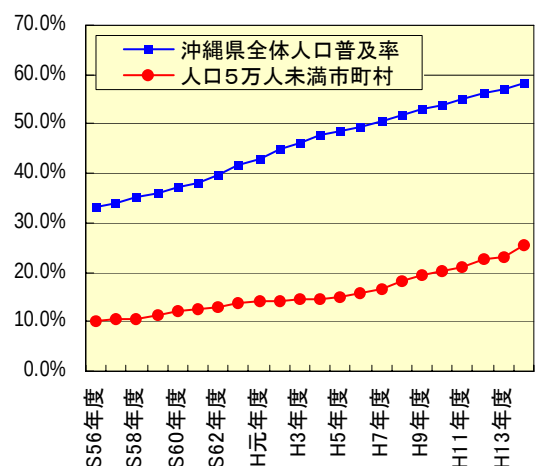
また、年々増え続ける廃棄物に対し、島嶼県という地域特性を踏まえ、廃棄物の循環利用のための施設整備や建設副産物の効率的なリサイクルを推進するとともに、地域環境の保全などの観点から公共交通機関の利用を促進する必要がある。

水質汚濁状況（全国ワースト3に匹敵する水質状況）



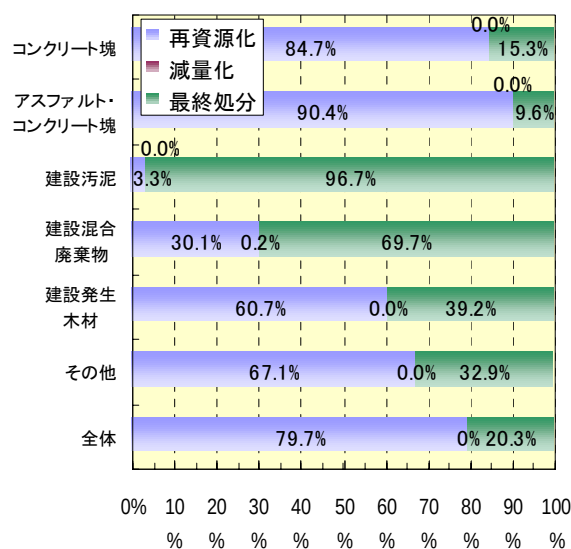
資料:「H14年全国一級河川の水質現況」(国土交通省河川局)
「平成14年版環境白書」(沖縄県)

下水道普及率（都市部と地方部との大きな格差）



資料:「維持管理年報」(沖縄県)

建設副産物再資源化率（H13）
（廃棄物の低いリサイクル率）



資料:沖縄総合事務局

公共交通機関との連携

（公共交通機関の利用促進）



資料:沖縄総合事務局